

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023 年 10 月 29 日

学 校 名	西南女学院大学		
学部・学科名	人文学部・観光文化学科		
チ ャ ム 名 (個人参加の場合は任意)	Y6	エントリーNo.	7
●●●●●●●● ●●●●●●●●			
携帯電話番号	●●● - ●●● - ●●●●	E-mail	●●●●●●●●●●
チームの紹介(任意項目) 西南女学院大学、人文学部 観光文化学科、3 年の八尋ゼミです。 ゼミの活動では、学科リーフレットの作成やフィールドワークなどを行っています。			
1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか) 宗像市の地域活性化を目的とします。宗像市は、福岡市からも北九州市からもアクセスが良い場所にあります。さらに、世界遺産、きれいな海、道の駅など魅力あふれる場所がたくさんあるにも関わらず、それらが十分にアピールできていません。また「宗像」という名前自体があまり浸透していないことも一つの課題となっています。私たちはこの宗像市のアピールポイントを十分に活かして多くの来訪者の獲得を目指します。			
2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて 宗像市の海岸沿いにある神湊からクルーズ船を出すというアイデアを考えました。ただ、クルーズ船を出すということではなく、船の上で様々なイベントを行いたいと思っています。例えば、ペットを同伴する特別なプランの提供、船上での映画上映、船上挙式、Bar の開店、地元食材を使ったディナー、世界遺産関連の神社の洋上参拝などを例として考えています。このように様々な内容のイベントを行うことにより、家族やカップルなどより多くの人を宗像市に呼び込みたいと計画をしています。週ごとにイベントの内容を変えることにより私たちが目標にしているリピーター獲得にもつながると期待をしています。			
3. 九州や地域社会への影響について 例えば、結婚式などを行うと、その日がその 2 人の記念日となり数年後、また同じ日に宗像市に訪れてくれるのではないかと考えました。そして、福岡を訪問する旅行者の目的地として宗像市が加わることにより、旅行者にとっては新たな発見が生まれ、地域にとっては旅行者の滞在日数が増えることにもつながります。さらには、船上で地元の食材を使うことによって地元の農業や水産業の売上も伸びることも予想されます。			
4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介 クルーズ船として 100 フィートほどのサイズを計画しています。これに 1 回の運行で約 100 人の乗船を見込み、毎日運航します。船のリース(または割賦)代金として、年 400 万円を 50 年に渡って支払います。維持費としては、年間 1000 万円を計上します。さらにスタッフとしては船の操縦や管理などで約 6 人とし、契約社員込み年間 4000 万の給与を考えています。平日はイベントなしの乗船のみで宗像市の海を眺めてもらうことを楽しむようにして、運賃は 1 人 4000 円程に設定します。週末は、前述のようなイベントを行うため、運賃は 1 人 10000 円程とします。年間約 1 万人の来客を見込んでおり、採算が取れるように考えています。なお、広告費は年間数百万円程度に抑えるようにしたいと思います。そのため告知方法は主に sns、TikTokなどで宣伝をします。また、JR など人			

通りの多い施設にポスターを貼ってもらうようにします。

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

宗像大社でお参りした後にそのまま船に乗っていただくことや、陸で犬のレースなどを行ないそのまま飼い犬と船の上でも楽しいひと時を楽しんでもらうなど陸と海の連携を目指す。また、ふるさと納税などに乗船券を付けてもらうに働きかけをします。船で提供する料理は、自ら開発し、それが観光資源となるように目指します。

<記入上の注意>

- ・各項目の文字数の制限はありませんが、計画書全体で最大A4用紙片面3枚以内に収めてください。
 - ・各項目の詳細説明のため概要図・グラフ・画像などの挿入や添付も可と致します。
- なお、解像度に画像が荒くなる場合がありますので、使用するフォントや写真等には留意下さい。